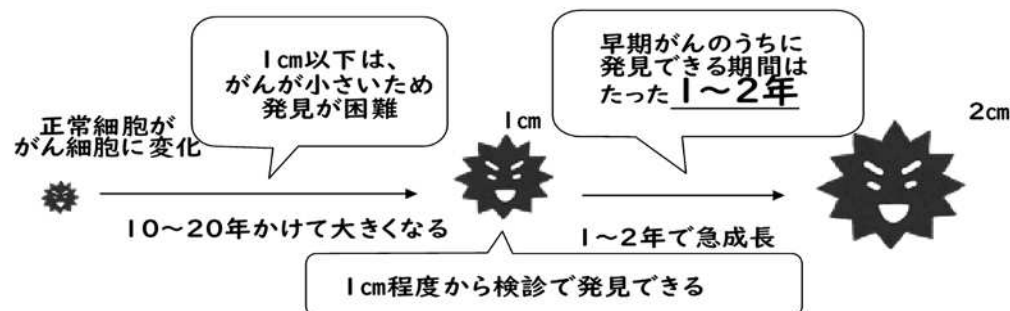


2人に1人はがんにかかり

3人に1人はがんで亡くなっています

早期発見のため定期的な検診を受けましょう！！



がん検診について

がん検診は、がんを無症状のうちに早期発見・早期治療し、
がんで亡くなることを防ぎます



メリット

- ・早期がん等の発見・治療につながる
- ・がんになる前の病変が発見できる

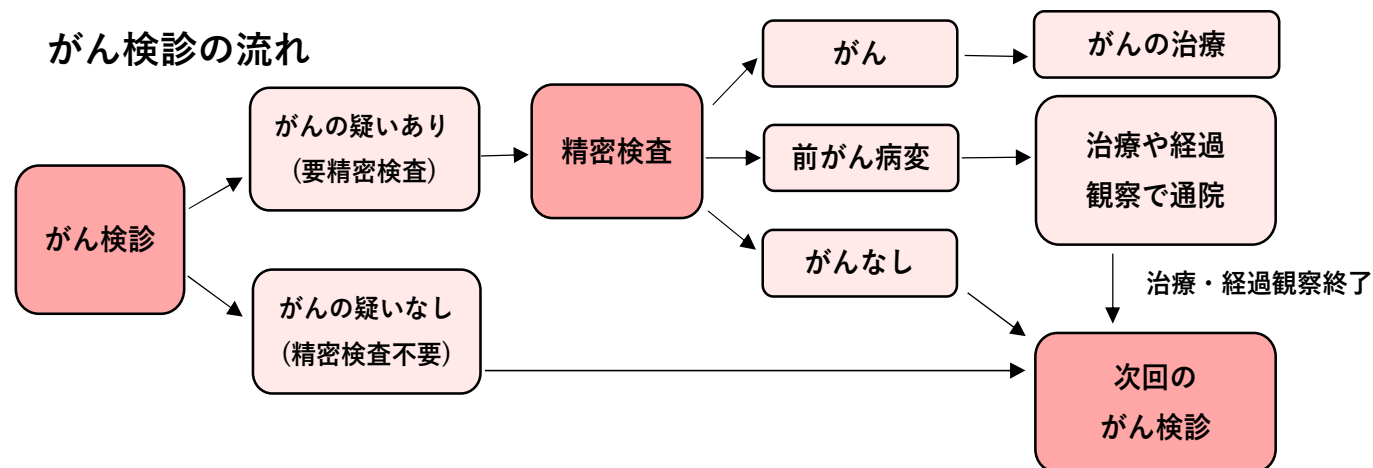
デメリット

- ・全てのがんを発見できるわけではない
- ・検査によって、体に負担がかかる

がんの状況

- ・肺がん・胃がん・大腸がんは、がん死亡の上位に位置しています
- ・乳がんは、女性のがん死亡の上位に位置しています
- ・子宮頸がんの罹患は、女性の中で比較的多く近年増加傾向にあります
→検診の継続(毎年または隔年)受診が重要です

がん検診の流れ



本庄市のがん検診について



- ・加入している医療保険に関係なく受診できます
- ・各検診とも年度内に1人1回のみ受診できます
- ・本庄市から転出した場合は本庄市の受診券は使えません
※重複受診や、転出後に受診した場合は、検診料を全額お支払いいただきます
- ・各がん検診に注意事項があります（必ず、本紙の裏面も確認してください）
- ・対象者は症状のない人です
※気になる症状がある（自覚症状がある）、治療中又は経過観察中の人は検診を待たずに医療機関を受診してください

検診を受けたら

- ・検診結果は必ず確認し、大切に保管しましょう
- ・結果が「異常なし」の場合は、その後も定期的に検診を受けましょう
- ・結果が「要精密検査」の場合は、精密検査を必ず受けましょう
※精密検査を受けることでがんの早期発見・早期治療につながります
費用は保険診療となり、自己負担金が発生します
※精密検査の受診状況を確認させていただく場合があります
※検診で知り得た個人情報は適切に管理します
そのうえで、精密検査の状況確認や結果の把握、検査機関との共有等を行います

各がん検診の精密検査について

検診の種類	精密検査内容 ※検査内容については医師の判断で実施します
胃がん	・胃内視鏡検査(胃カメラ)：内視鏡を口または鼻から挿入し、胃等の内部を検査
肺がん	・CT検査：胸部の断面をX線にて撮影 ・気管支鏡検査：気管支鏡を口または鼻から挿入し、気管支の中を検査 ※喀痰検査で要精密検査の場合、喀痰の再検査は不適切です
大腸がん	・全大腸内視鏡検査：内視鏡を挿入し、直腸から盲腸までの全部位を撮影し、病変がないかを確認 ・必要に応じて、組織の一部を取り、悪性の有無を確認 ※精密検査として便潜血検査の再検査は、大腸がんの見落としにつながることもあるため不適切です
前立腺がん	・経腸的超音波(エコー)検査、直腸診、前立腺針生検等
子宮頸がん	・コルポスコプ(膣拡大鏡)を使用し、疑わしい部位の組織診や細胞診、HPV検査等を組み合わせて実施
乳がん	・マンモグラフィ追加撮影：疑わしい部位を多方向から詳しく観察 ・超音波(エコー)検査：疑わしい部位を超音波で検査 ・穿刺吸引細胞診、針生検等：針を刺し、細胞や組織を採取し、悪性の有無を確認